

平成 16 年 9 月 2 日

各 位

会 社 名	積水ハウス株式会社
代 表 者 名	代表取締役社長 和 田 勇
コード 番号	1928
上場証券取引所	東証・大証・名証各市場第一部
問い合わせ先責任者役職名	広報部長
氏名	山 口 英 大
TEL	06-6440-3111

「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用 及び「厚生年金基金の過去分代行返上認可」に伴う業績予想修正

当社は、本日開催の取締役会において「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 1 月期において早期適用することを決議致しました。

また厚生年金基金の代行部分について過去分返上の認可を厚生労働大臣より受けました。これらにより、平成 16 年 3 月 1 日決算発表の連結及び個別の業績予想を修正致します。

1. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用について

当社グループは、財務体質及び収益体質の強化に努めて参りましたが、これを更に万全なものとするため、「固定資産の減損に係る会計基準」の早期適用を決断したものです。

この結果、平成 17 年 1 月期の連結決算において約 600 億円、同個別決算において約 510 億円の特別損失を計上する予定であります。

これにより当社グループは健全なバランスシートのもと、資産効率をさらに高め、業績の向上に邁進してまいります。

2. 年金基金の過去分代行返上認可について

当社及び一部の国内連結子会社は確定給付企業年金法の施行に伴い、積水ハウス厚生年金基金の代行部分について、平成 16 年 9 月 1 日に厚生労働大臣から過去分返上の認可を受けました。

この結果、平成 17 年 1 月期の連結決算において約 400 億円、同個別決算において約 370 億円の特別利益を計上する予定であります。

3. 通期業績予想の修正について

上記「1. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用について」及び「2. 年金基金の過去分代行返上認可について」に伴い、当下半期に特別利益及び特別損失を計上する見込みとなったこと、並びに不動産販売事業の受注好調による売上高増加が見込まれる等のため、平成16年3月1日に発表致しました、平成17年1月期の通期業績予想を以下の通り修正致します。

なお、本日発表の平成17年1月期中間決算短信におきましても、同様の業績予想を記載しております。

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,350,000	75,000	38,500
今回修正予想 (B)	1,370,000	78,000	26,000
増減額 (B-A)	20,000	3,000	△ 12,500
増減率	1.5%	4.0%	△ 32.5%
前期(平成16年1月期)実績	1,326,039	79,062	37,761

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	1,080,000	63,000	35,000
今回修正予想 (B)	1,090,000	65,000	23,500
増減額 (B-A)	10,000	2,000	△ 11,500
増減率	0.9%	3.2%	△ 32.9%
前期(平成16年1月期)実績	1,055,027	65,554	33,580

以上